

2020年 3月 24日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における潰瘍性大腸炎に対する顆粒球除去療法（G-CAP）の有効性と安全性についての検討

2. 研究責任者

海南病院 消化器内科 大岩恵祐

3. 研究の概要

現在潰瘍性大腸炎に対して中等症から重症の方に顆粒球除去療法が行われておりますが、有効性および安全性を検討した報告は少なく、再度検討することが重要と思われました。

そこで当院にて潰瘍性大腸炎に対して顆粒球除去療法を受けられた患者さんについて、年齢、性別、有効率、併用薬の有無による有効率の違い、顆粒球除去療法施行の時期、有害事象について検討する事としました。対象は2013年3月から2019年3月までに当院において潰瘍性大腸炎で顆粒球除去療法を施行した患者さんです。

潰瘍性大腸炎に対して施行する顆粒球除去療法は有害事象が少なくその有効率を検討することでより安全な潰瘍性大腸炎治療につながると考えます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2013年3月から2019年3月までに当院において潰瘍性大腸炎で顆粒球除去療法を施行した患者さんです。

②使用する試料等

残余検体：使用なし(追加検査等はいりません)

カルテ情報：年齢、性別、有効率、併用薬の有無による有効率の違い、顆粒球除去療法施行の時期、有害事象といったカルテ記事記載内容を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 消化器内科 大岩恵祐

電話：0567-65-2511（代表）